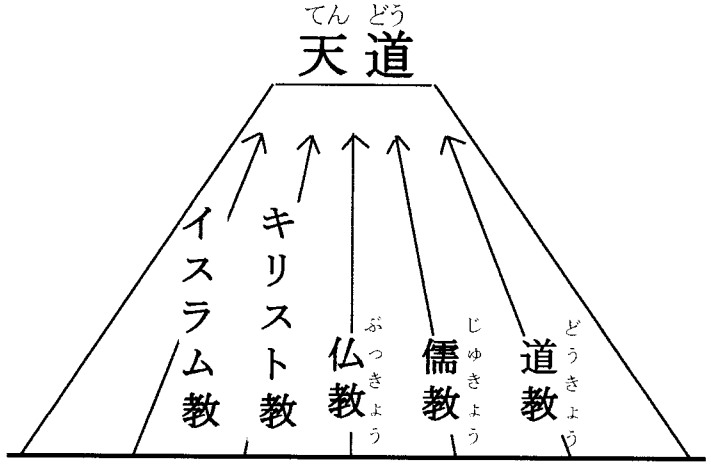
宗教ではありません

5000年ぶりに明かされた三宝。



1890年庶民へ公開　元は一根

五千年前

天命が七神仏より伏義様に伝えられる

道統（道の歴史）

1	2	3	7	8	9	10	11	12	14	15	18	46	62	63	64
伏義	神農	黄帝	堯帝	舜帝	禹帝	湯王	文王	武王	老子	孔子	釈迦	達磨	路祖	弓長	徐明
八卦	漢方	鍼灸							道教	儒教	仏教		弥勒		師
	農業														

世界の五大宗教の最終目的は極楽浄土・天国へ帰る事（輪廻解脱）ですが、人の力では出来ません。

世界に唯一つ天命のもとに出来る所があります。

5000年前から聖人賢人に一人から一人へと伝わる天命の一指貫天の法“三宝”をご紹介いたします。

一生にただ一度のお参りで死後、
極楽へ昇ります

得道 即 成仏

得道とは一生に一度のお参りで輪廻転生（動物や虫類等に生まれ変わる事）を断ち切り、死後、必ず極楽浄土に行ける道を得ることです。

仏門の得度とはまったく違うもので、宗教宗派を問わず、五千年前から聖人帝王の間でひそかに継承されてきた秘宝です。多くの修行者がこの道を得ようと生涯を費やして厳しい修行を行なってきましたが、得られるのは、お釈迦さまや老子さま孔子さまなど、ごくわずかな聖人だけでした。しかし、今や末世の大きな災いが目の前に迫り、天は広く庶民に得道をお許しになれました。約百二十年前の事です。特別な修行も、莫大な財も必要ありません。ただ信じ、得れば救われるノアの方舟です。この安心立命の道を、ぜひ、ご家族ご友人とご一緒にお受け下さい。

得道（三宝授記）

○死後、必ず極楽へ昇る為、死後硬直が有りません。
また死の苦しみが殆ど無くなります。
○宗教宗派には関係なく授かれます。
○家族で受ければ極楽で、また会える為、
死別でも、悲しみは殆ど有りません。
○生涯、ご神仏のご加護があります。
○末劫（末世の大災難）から逃れます。

ラウム

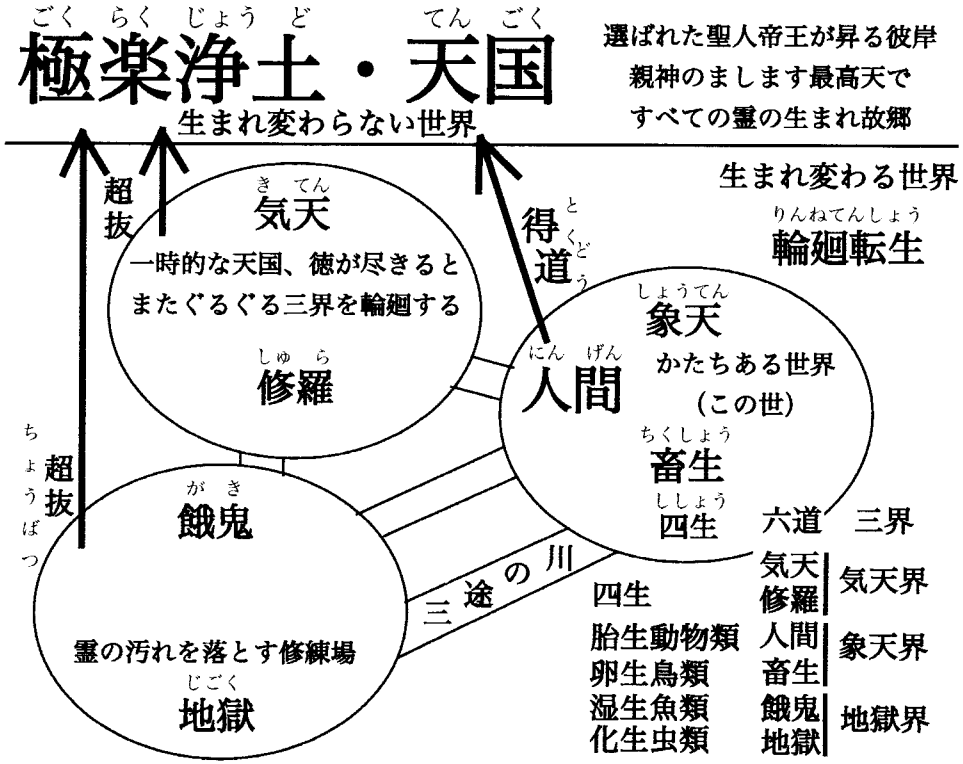
申　様（宇宙創造の神）を各宗教での呼び方

儒教　明明上帝　孔子様
道教　天地生育の母　老子様
仏教　阿弥陀仏　無量寿・無量光　お釈迦様
キリスト教　天の父　主　エホバ　キリスト様
イスラム教　天主　アラー　マホメット様
神道　天之御中主之神

はは　ラウム　かみ

母　肉体の母
申　霊の母
示申　古文書の神の字
神

神という字は申を示すと書きます



りんねてんしょう
輪廻転生：**人は絶対に死にます。**肉体を抜け出た霊は三途の川を渡り地獄で閻魔様に裁かれ行き先が決められます。殆どは地獄で厳しい修行した後、次の四生（胎、動物類・卵、鳥類・湿、魚類・化、虫類）六道（気天・阿修羅・人間・畜生・餓鬼・地獄）に生まれ変わります。

ひらんせんか
飛鸞宣化：天・地・人の三才による理天神との連絡法。

↑地才：文字を書き留める

↑人才：文字を読み上げる

↑天才：訓練を積んだ者が、木筆を持って砂盤の前に立ち眼を閉じると理天神の霊が天才の体を使い砂盤に文字を綴られる。

次の文章は極楽浄土の理天神が飛鸞宣化で書かれましたメッセージです。

道躍・道奥・道起天壇開壇御聖訓

元は一根

躍ぶ羽根の　念えば到る　この身柄
　天女が我か　我が天女か
奥山を　越え去り来れば　懐かしき
　門に立つ中　抱きて迎える
起きて立て　立ちて歩めと　背な叩く
　神の策にて　功を建て得る
　　吾乃
観世音菩薩
慈命を 奉りて、南海に臨む。
中容を頂禮し、純朴なる民人と会ゆ。陸続たる開壇の吉報、
天人共々慶祝して、**茲に一文、天道を紹介せんとす。**
　　哈哈　止。
一人の子に、一人の母あり。**万人の衆生に、独りの霊の母あり。**
申と申し上ぐ、親が子を愛し、己が己を想う以上に、我等をこよなく愛しみ給うなり、生まれし前より、亡くなりし後も、**天地の先より、宇宙の終わりも尚も育み給う御方なり、**
母子相抱き、申児相棲まうは幸福と平和の到りなり。然れど

理天神・・輪廻しない神。過去に三宝を授かった神。
輪廻する世界（四生六道）の霊達を極楽浄土に導いてくださる御神佛。

天壇・・理天界・極楽浄土と直結する祭壇。**天壇のまわり、半径百歩以内があらゆる災害の安全地帯になります。**
天壇を預かった人に天壇名を付けて下さる儀式が開壇御請訓式です。**飛鸞宣化で降ろされたメッセージを御聖訓とよびます。**日本では昭和２５年から始まり今では２５００訓以上あります。

理天神様より、人間・霊界の一番大事を教えて頂いております。読めますのでお問い合わせ下さい。

観世音菩薩様、普賢菩薩様、の御聖訓をここに公開させて頂きます。

今の世に在りて、情操冷やかに、道徳荒ぶは是れ、親子相和せず、而して萬人が中を信ぜざるに依るなり。中は萬古の郷愁なり。終局の帰趣なり。中によらざれば我等一寸たりとも活くる能わず。永劫に救わる能わざるなり。

中の家は何處に在りや。異地に行くに、海路・陸路・空路あるがごとく、路は長安に通じ、大道は理天に達すものなり。

中への路を古来、天道と言うなり、山を登坂するに幾つもの入口有れど、頂上は一点なり。千枝萬葉有るとも、元は一根なり。教門数多群がれども、中の一点には天道にて達し、理天の一根は法に依りて還れるものなり。

法は當に眼門の一竅に在り。此の玄妙関は理天への扉、大道の門口なり、吾観音、十四年の修行も最後に明師の授機に会いて完成を見たり。諸佛諸祖の成道は皆、三寶に依りて成れり。彼岸は汝の面門に隣接す。小悟無数に有るとも、大悟は此の得道の一訣に在り。信疑・修怠に関わらず、必ずや中の里に帰す能うなり。父長の命は家族を収め、國王の令は國土を統ぶるが如く、老中の天命は絶対の権威と悠久の権限有り。何人も是れを拒む能わず。誰人も之に依らずして、極楽浄土に往生する能わず。

天命を天地開かれしより閉ずる迄、道統の祖師が之れを継承し、断絶するなし。故に天道は宇宙の王位にして、世界の中心なり。此の威厳は天壇の至聖所にて顕現される。一個の天壇は地上の僧院、全てを集むるも之れに比し難し。仏閣神社は既に荒廃し、教説も民衆の益に成り難し。一畳の間も萬丈の理天を茲に見るべし。那の末劫襲うとも死の灰を被る能わず。鬼の手も侵す能わず。方舟となりて劫海を浮かぶなり。神棚

千枝萬葉、元は一根・・宗教が枝分かれし、葉のように何万と有りますが元は一つの根、天道から出たものです。

永劫・・永遠。

理天の一根は法によりて帰れる・・極楽浄土へは三宝にて帰れる。

授機・・(授記) 三宝を授かる事。

眼門の一竅・・三宝。玄妙関。聖人は皆この一竅が開かれています。一竅を理天神に開いて頂く儀式を得道式と申します。

小悟・・日頃の納得。

大悟・・輪廻転生から抜出す事、解脱する、覚る。

信疑・修怠に関わらず・・信じる、疑う・修行する、しない。に関わらず救われます。

道統・・今のこの時運の為に。聖人賢人が五千年前より一人から一人へと天命を伝えて来た道の歴史。

佛壇を祭るが如くに、一家一壇をもって劫煞を乗り越ゆるべし。

宗教は僅か二・三千年にも充たず、既成新興に至りては現世の利益を専らとして、人生の真義を解す能わず。教義は月を指す指にして月に非ず、彼岸を目指す船にして彼岸に非ず。中は月そのもの、天道は彼岸その事なり。一法を得、一壇を設けし者は次の泰平の地上天国に住む事を許されるなり。逸早く發願して求聞・設壇の願を遂げよ。生とは法を求め、法を傳う為の人生にして、凡事のみに費やされるべきに非ず。徒に光陰を過すなば、死して萬乗の罰を受くべし。**紅顔の少年、忽焉として白髪の翁に成れり。**老幼は背中を合わす。老いに幼きに、道を違うべからず。幼きとも早からず、老いるとも、遅からず。道を得なば是れ好節にして、一途に道を以て指針とせよ。

病の苦、貧の苦、天理流れて因果を示す。一切は是れ応報の結果にして、原因は己自身に在り。利益を求むも之れ策に非ず。身を病むも、命病まず。身貧しきも性豊なれば、憂うる事なし。

死に臨めば心柔軟にして聖衆来迎し、即座に理天に登り、中を拝す。然れど、無縁は形相引き攀り、体硬直して鬼卒の引接に会う。何れを把るや。生死の分かれ目は、今の一決に在るなり。

信仰とは得るに非ず、捨つる事なり。犠牲なり。献身なり。奉仕なり。無一物にて、霊は無盡蔵の歓喜法悦溢るるなり。誰ぞ、之を味わうや、之を逃すや。現世の喜び愉しみ程、虚しく儚き事なし。**求むべきは永劫の幸せなり。楽しさなり。**

信じて、身は損ずるも　中の愛に包まれし者は幸福此の上なし。

信じるとは、愛なり。中を愛し、衆生を愛し、自己を愛すなれば道を傳えざるを得ん。身を癒し心修むとも、霊を救う事の

方舟・・大洪水（**劫海**）から逃れた船。

劫煞・・多くの人が死ぬ大災害。

教義は月を指す指にして月に非ず・・宗教は人が作ったもの、解脱への道を説くが、解脱は出来ない。天道はラウム様が作りしもの、解脱が出来ます。**宗教と天道の大きな違いです。**

求聞・・求め聞きなさい。

凡事・・生活の為に費やす月日時間。

光陰・・月日。（あっと言う間の一生。人生８０年で３万日、１万は眠り１万は働く、残りは後、何日。）

因果応報・・良い原因には良い結果、悪い原因には悪い結果が来る法則、条件が整うと結果が起ります。

性・・さが、人の本性（ほんしょう）生まれながらの心。

他に至高の愛の現れなし。傳道こそ、愛の実践なり、愛の表現なり。**不滅の生命を得させる天職に勝るものなし。**愛は真心の發露なり。誠の流露なり。心を盡くし、体を盡くし、命を盡くし、性を盡くすなば、中の真実の愛に目覚めるを得ん。此の行は願にて起るべし。願無くば何事も成就する能わず。願は愛と誠の意志なり。目標なり。**老中と共に諸佛諸菩薩は普渡収圓・萬教帰一の大願成就の為に日夜、血汗涙痕を流して三千十方に奔走し続くなり、**吾観音も之に洩れず、中を慰め申し、衆生を安んぜんが為に、我が身を悉く粉にして説き巡るなり。

汝等よ、善き生まれ、美しき霊の持ち主達よ。若し我が直言に感ずなれば汝の生命を天道に捧げよ。汝の一生を中に委ねられたし。而して汝發心するなば、観音又、汝より離る事無く護り庇う事悠久なるべし。

汝と我は一体なり。中と汝は一心なり。汝には最早、不安恐怖、何事も前途を遮ぐる無し。汝よ、信ぜよ。強く信ぜよ。汝よ中の愛を信じ切りて生涯を貫くべし。**中の愛程、汝を幸いにするもの無し。天道程、汝を未来久遠に亘りて導く法は無し。**我観音と共に中に縋りて道を傳えん。

基夫賢士に告ぐ。火を吐く如く、鳥の飛ぶ如く、全土を飛び廻る勇敢の傳道士たるべし。熱血の壮士は決断せば止むを知らず。大難を物ともせず突破すべし。双肩に担え責任は大なり。速やかに列志を立てて前方を行くべし。期待大なり。

幸一賢契に告ぐ。老齢にして矍鑠たり。内に秘めし情熱の程を見たり。

人生の久しき体験を活かして、後学を指導せられたし。任務は

無縁・・この話を読み、聞く事が出来ない人。

無盡蔵・・尽きる事の無い事。

傳道・・前世、前々世またはるか昔の人生に、いつか弥勒の時代に生まれ三宝を皆で授かろうと誓い合った佛弟子が廻りに無数に、この天道の縁を皆待っています。

普渡収円・・全ての霊を理天へ救い、まるく収める。

渡・・(度)済度する。迷いの世界(此岸)の衆生をさとりの世界(彼岸)に渡すこと。輪廻から抜出さす事。

萬教帰一・・全ての霊の修行者がラウム様の元、故郷理天へ帰る事。

血汗涙痕・・血の汗、血の涙が乾く暇の無い程。

三千十方・・全ての霊界の隅々まで。

天人の期する處余り有り。**真実なれば周囲感化せられる事、確かなり。**

中命により、壇号、基夫には道躍天壇。朝夫には、道奥天壇、幸一には道起天壇を夫れ夫れに賜わりたり。各々の意、全文を貫く。斯島の善心、協力して道の為に全てを捧げ盡くされん事を祈るものなり。更に尚、天壇の開設、後に続くを託せり。

我、詞止め、

老中に辞叩して家園に去る

哈哈　退。

宗教に非ず

どうりん　どうへん　どうだいぞうせつてんだんかいだんごせいくん

道林・道辺・道墓増設天壇開壇御聖訓

しゅうきょう　あら

林中の　菩提一樹に禅座せば
　三千世界　掌　なり
辺地なる　理天の端も　欲天に
　比すなば楽は　王と乞食
　　我本

ふげんぼさつ

普賢菩薩

ムメイ　ほうたい　どうぜん　どうだいてんだん　らいとう

中命を奉戴し、道墓天壇に来到す。

コウム　れいこう　どうぜん　し　かいめんけいしん

皇中を禮叩し、道善の士と会面契心す。初見の者、天筆　正さに奇遇の神音佛説にして、能く心耳に刻印して**人生の本懐を究盡くすべし。**

かいだんしゅっこう　しゅくが　ここ　いちぶんとど　ここ　みちあ　な　てんどう　い　ゆうきゅう　たいこ　すで　そん　いっさい　さきた　な　おわ　いっさい　ふへんふめつ　えいごうえいきゅう　しんり　のち　また　あ　じつざい

開壇出航を祝賀して、茲に一文留めんとす。哈哈　止。

茲に道有り。その名を天道と謂う。悠久の太古より既に存せり。始まり無く、終りも無く、一切に先立ちて在り。一切の後にも又、在り。**不変不滅、永劫永久の真理**にして、実在なり。

理天の端も欲天に比すなば楽は王と乞食・・三宝を授かる事は、この世の楽で言えば王様級、輪廻する事は最最下層の生活。

奇遇・・不思議な縁で出会う事。

神音佛説・・神佛の説く本当に伝えたい今現在の事。

心耳に刻印・・心に刻みつけなさい。

人生の本懐を究盡・・人に生まれて**一番大事な事は輪廻から抜出す法に出会う事。**

（かなり前から、金儲けが一番、と誤った考えが広がっていますが、この世のものは、指輪一つ、あの世に持って帰れません、**持ち帰れるのは罪と徳だけ。**大きな徳積みは人助けです。中でも人を極楽に連れ帰る程大きな徳積みは有りません）解ったら究めつくしなさい。

開壇出航・・安全地帯になる天壇を預かり、皆を乗せる事。

何物も之より出でざる無く、何人も茲より生まれざる無し。霊の本巣、心の宗家、体の帰宿なり。宇宙天地を活動運搬する源力、人生生死を流行出没させる命力、皆、道より發せざる無し。

その心を古来、神佛と称し、今、中と言う。**中は生命自然界の母体にして、心霊性命界の根源地なり。一切の事物は中より出で、中に帰し、道より降り、道に昇るものなり。**自然は有象なれど、遂いに無象の天に復すべし。

人間は有体なれど、終いに無体の霊に戻るべし。

道は口言の教説に非ずして、道理法理、一切真理の源由を事実にして顕現す。故に、天道は宗教に非ず。人類が求め歩むべき一なる根本理なり。

人生如何に苦悩する者よ、道に来たれ。生死如何に脱すべきかに人生の課題あるべし。之れを悉く解き明す答は只、道に有すべし。法に存すべし。理を離れて正しく活きられざるべく、又、元に帰られざるべし。

道にこそ、人の畢竟の面目有るべし。

◎人生に苦悩する者よ、道に来たれ。

天道はその苦悶の因縁を根本より解放し、幸楽の希望を前途に照さんとす。萬年の束縛を解かれし者は、此の身を以て永久の生命ある、理天極楽に帰し住まわん。

◎貧困に悲痛せる者よ、道に来たれ。

物象如何に豊富に蓄えども、心虚しからば一切無くに均し。

物に先立ちて心有り。神を愛し、人を愛する心の豊かさを傳法以て教えんとす。

霊は形を凌ぎて余り有り。**徳の満つるは財の充つより久遠に亡びず。**

霊の本巣・・すべての霊のふるさと理天。霊の親がラウム様、理天界へ帰る道を天道。天道の三佛、弥勒様、観音様、天然古仏様。

有象・・かたちが有る。**無象**、かたちが無い。

口言の教説に非ず・・言葉や心の救いだけの教えではない。結果が出ます。

一なる根本理・・人が生きて行く上での根本の真理。

人生の課題・・生死（輪廻）からいかに抜出すかが五大宗教の教えです。ならばどこかに解脱の法が準備されているはずです。それが三宝です。

畢竟の面目・・最終のおおもとになるもの。

苦悶の因縁・・輪廻から抜出す事は、生きる苦・老いる苦・病気の苦・死の苦しみ、の四大苦から根本的に解放

◎信仰に挫折する者よ、道に来たれ。

大樹の所に多枝多葉あり、時至れば皆根元に落つべし。千宗萬門、世に繁れども、遂いに大道の元に歸すべし。**宗門は人作り、天道は創造者、中の造り給いし道なればなり。**一切衆生、道門に歸らざる者、一とて無し。

◎祖先を崇敬したき者よ、道に来たれ。

誰もが父母を念じ先祖を想わざる無し。その恩徳に報い、その幸栄を願わざる無し。**禮拝供養は慰安なれど、済度とならず。抜本救霊の傳行を積みて祖先回向の功養とせば、**時久しからずして**玄祖悉く往生帰天すべし。**

◎末劫を恐怖せし者よ、道に来たれ。

最後の審判、人類全滅の浩災は必ずや来襲す。之れ作事、疑言に非ず。最早、眼前に切迫して生物皆、大地獄の最下に陥れんとす。之れより逃れる術は何一つ無し。如何なる教師、如何なる神術、如何なる名財も之を覆す能わず。**人類地球に唯一、最後に残されし救いの門は天道のみに在り。**之れ我田引水に非ず。**宇宙造主の中の命令なる故に必ずや助かり、必ずや次の世の泰平に住まう能わん。**

然れど、**門法得道叶えるは偶然なる事に非ず。萬萬年の前世より善徳を積みたる應報にして、**因果を離れざる無し。凡そ壇前に跪きて三寶を授けられし者達は、中の選び給いし善孝の子にして、天の計画に入りし者なり。今、愚頑といえども末劫年に至りしなば、瞭然として目覚め、忽然として傳え、燦然として光彩を放ち、民衆を導くべし。

汝等こそ、その者自身なるべし。汝等こそ、天の使徒なるべし。愛の天使、理の佛使なるべし。目覚めよ、**汝等の来たるを多く待つ者あり。**汝等と共に生死を越え、**大劫を逃れ、**されます。

萬年の束縛・・
輪廻の中にいる事。
耳から霊が抜け出れば来世は動物類。
目からは鳥類。
口からは魚類。
鼻からは虫類です。
一竅から抜ければ極楽浄土に帰れます。

玄祖・・
玄は子孫、祖は先祖。2007年に早く亡くなった子供や先祖が三宝を授かり極楽へ帰せる事も出来るようになりました。
地獄で一番嬉しい事は地獄から抜出す事です。お経を唱えても、皆で願っても出来る事ではありません。本当の先祖供養は極楽へ送る事です。一子成道すれば先祖七代、子孫九代を救えます。

末劫・・
世界中に起る大災害、温暖化も大地震もその一つです。
数年前から、何かが地球に始まっていると感じている方も多いでしょう。

浄土に歸りたき者、無数に救いの手を言葉を待つなり。汝等報せずんば後は皆、無間の奈落に萬年呻吟苦痛すなり。

汝等、それにて良きや。それにて正しきや。良心咎めざるや。己のみ助かり、人は如何なるとも良きと言うや。苦海に放り出して自らのみ浄土の安楽を貪らんとするや。それにて快きや。楽しきや。嬉しきや。何人も己が親を子を妻を想わざる無し。自己自家を親しむ如くに、他人他家も愛すべし。人々は是れ、中の子、汝の兄弟なり。生類皆、中の子、汝の親なり、子なり、曾て恩を受け、恵みを施したる者達ばかりなり。

一切は他生の縁、理天家郷の同胞なり。人知を離れ、愛憎を越え、普くに**天道を傳えて救うべし。**誰もが汝と均しく幸福になりたし。自由になりたし。

中こそ、幸福の極地にして、理天こそ、自由の究局なり。茲に、それに至れる道あり。天道あり。一刻も早く報せよ。

一人も多く授けしめよ。皆共々に　中と共に歸り集いし歓びを分ち合わん。悲しみを拭い合わん。

正充、多美子、二夫、ヒルエ一家、節哉、静子、貴子等一家に嘱咐けり。善因徳縁、今生に熟して晴れて壇主の栄誉を受けり。人生途上、これに勝れる吉事無く、福典無し。一日壇主たるも百日の楽幸有り。況んや生涯、命を貫き守らば**萬劫の逍遥自在得たるべし。**忠誠盡くして壇灯を絶やす勿れ。聖務は凡業に勝る事、天淵雲泥の差有るべし。

少しの時を見出し、全精全力を傾けて救縁に没頭すべし。道は人の為のみならず、**最も汝等自身の為ならん。**心の誠愛深くして、天人共に道に發揚されん事を託せり。

天命に依り、壇号壇名を拝し来たる。順に賜わる。

道林天壇、道辺天壇なり。双林樹一点を辺彊の地に傳えて、道

我田引水・・物事を、自分の利益となるようにひきつけて言ったりしたりする事。

天の使徒・・この話を伝える人。

無間の奈落・・無限地獄、八大地獄の一つで、絶え間ない苦しみを受ける地獄。

他生の縁・・例えれば、今は他人に思えても、前世は夫婦、兄弟、親子、親戚、友人だった縁。六万年前は理天界で皆兄弟でした。

萬劫の逍遥自在・・先祖九代５２４人以上を救い、子孫や人間界、また霊界等を自由自在に移動し、暖かく見守り、指導したり出来る立場の理天神になる事。

救縁・・自分の廻りの縁有る人を救う事。

双林樹一点・・三宝の事です。

地の骨となれ、礎となるべし。
幸雄、久幸に告ぐ。増設する事速刻にして、又次に目論む事頻りなり。
当地の中核として責務大にして、影響広し、更に各辺に亘りて拠点を繋ぎ、聖凡一体の愛道の輪を拡充されたし。その手腕見識に委託する處、絶大なるべし。正さに道の土臺を増す壇となれ。
斯地一圓の諸士、聖運到来、愈愈運気上昇し、大発展の兆候明らかなり、此の時期を見逃さず、的確に執らえて十全に全うすべし。各々の使命と誓願を全誠もて遂ぐべし。
我、之にて多く示さず、
老中に辞叩し、天外空に歸さん。
哈哈　退。

ぎょくこうざん　みろくてら
玉皇山　弥勒寺
電話０７９（５６６）０４２４
〒６６９１５０５　兵庫県三田市尼寺１０７３
お問い合わせ先

辺彊・・
都から遠く離れた土地。
天命・・
中様の命令
すべての霊は我が子供、三宝は輪廻の修行の卒業証書、先に渡すから、後は大勢の兄弟と共に帰っておいで、それが最後の修行ですよ。
宗教の神・・
輪廻する六道の最高位の気天界・修羅界の神々が宗教を指導しています。気天神の最高寿命は五百年です、いつか又、人に生まれて来ます。
祖霊超抜・・
天道の奇跡の道具（護摩・御神水等）で働かれ、すでに十一萬人以上が理天にお帰りになられてみえます。
平成５年の最初に超抜された気天神様。聖徳太子様・鑑真様・空海様・道元様・徐福様・武田春信様・役の小角様。
御聖訓が有ります。

◎お釈迦様の教え

・・金剛般若波羅密経には

燃燈佛則不與我受記汝来世當得作佛號釈迦釈迦牟尼以實無有法得阿耨多羅三藐三菩提。

燃灯佛より授記された。（仏になる確約・三宝を授かる事）と書いてあります。但し三宝は天の機密の為、授かった人以外には三宝は解りません、三宝の中身は仏教の最大の謎です。経文にも書いてありません、得道式で一竅が開かれ、明らかになり納得できます。その時代は単伝独授（時運が来る迄一人から一人へ授け伝える）の為、全ての弟子に伝えられず、いつか三宝にめぐりあう為の教えを説かれました。**それが経文として残っています。**

阿耨多羅三藐三菩提（あのくたらさんみゃくさんぼだい）は三宝の事です。

◎仏教の教えを一言で言えば・・

ひろさちや先生。東大インド哲学科卒。仏教の教えとは、つまるところ、**この輪廻の世界からの解脱にある。**どうすればさとりを開いて「仏陀」になり、輪廻しない世界「極楽浄土」に到達できるか、それを釈尊（釈迦）は私達に教えてくれているのだ。

◎聖書を勉強されている方に・・

旧約聖書にも新約聖書にも、実は輪廻転生のことが書かれていました。紀元三二五年、時のローマ皇帝、コンスタンチン大帝はその母ヘレナとともに、新約聖書の**輪廻転生に関する記述を削除した。**紀元五五三年にコンスタンチンノープルで開催された第二回宗教会議において、この削除が正式に認められ、輪廻転生の概念は異端であると宣言されたのであった。人類の救済は輪廻転生を繰り返す事によって行われるという考え方は、巨大化しつつあった教会の力を弱めるものだと、彼らは考えたのである。しかし、初めから、ちゃんとこの概念は存在していて、初期のキリスト教の先達は、輪廻転生の概念を受け入れていた。

今日おなじみの「聖書」は正典と呼ばれています。コンスタンチノープル会議で「神の言葉ではない」、として削除された部分は「外典」として、神学校などでは教えられているようです。古代ギリシャの神秘主義。コンスタンチノープル会議以前のキリスト教、仏教、道教、儒教、ヒンドゥー教などをはじめとする、あらゆる東洋系の宗教、アメリカ・インディアン、アフリカやオーストラリアの原住民などの宗教では、「輪廻転生」が当たり前のこととして説かれています。

◎宗教家の方に、

六道輪廻から抜出さない限り本当の幸せは有りません。

世界中の宗教が同じ事を説く元は一つです。その元に、今、縁が繋がったのです。

貴方が追求する、永遠の幸せ、の答えは三宝を授かる事です。

天道は、国を挙げて、人類が、こぞってやるべき大事です。

貴方様の、ご参加を、お待ち申し上げます。